

参考文献

井上円了「加藤老博士に就きて」『東洋哲学』第二二編、第七号、一九一五年。

梶井重明「高嶺遺稿」をめぐって―西田幾多郎とカントとフェノロサ―『こだま…金沢大学附属図書館報』

第一四二号、二〇〇一年。

柏原祐泉・藺田香融・平松令三監修『真宗人名辞典』法蔵館、一九九九年。

岐阜県海津郡南濃町編『南濃町史 通史編』岐阜県海津郡南濃町、一九八二年。

佐藤厚「井上円了『八宗綱要ノート』の思想史の意義」『井上円了センター年報』第二二号、二〇一三年。

「吉谷覚寿の思想と井上円了」『国際井上円了研究』第三号、二〇一五年。

「吉谷覚寿の東京大学仏教学講義」『中央学術研究所紀要』第四六号、二〇一七年。

東京大学史史料研究会編『東京大学年報 第五卷』東京大学出版会、一九九四年。

東京大学百年史編集委員会編『東京大学百年史 部局史1』東京大学出版会、一九八六年。

早川千吉郎編『高嶺君遺稿』早川千吉郎、一八八八年。

※本書は、日本学術振興会科学研究費助成事業基盤研究（C）「明治期の東京大学における印度哲学および支那哲学講義の思想的意義」（研究課題番号二五三七〇〇一二）の成果の一部である。翻刻にあたっては、佐藤厚氏（東洋大学東洋学研究所客員研究員）、福元啓介氏（尚古集成館研究員）にご協力いただいた。また、岐阜県海津市に在住する栗田俊文氏より、吉谷覚寿に関する資料を提供していただいた。いずれの方々には深い感謝の言葉を申し述べたい。